

AC12 サンゴ礁ジグソーパズル

実施のしかた (PDF)

1. 参加者全員に巨大なジグソーパズルをつくることを伝えます。

2. ジグソーパズルのピースを参加者に配るか、バラバラにして床に置きます。

ただし、あらかじめ1ピースは抜いて、参加者に分からないように隠しておきます。

3. 制限時間（ピースの数や参加者数に合わせて設定）を告げて作業を開始します。

完成目標時間を決めると参加者同士の気持ちがまとまりやすくなります。参加者自身に決めてもらいましょう。

4. あらかじめ隠しておいた1ピースを出してパズルを完成させます。

最終段階になり「ピースが1つ足りない」と参加者が気づいたら、隠しておいたピースを出します。

5. パズルの絵をじっくり見て、それぞれにどのようなつながりがあるのかを考えます。

何が描かれているのか、描かれているそれぞれの絵にどのような関係があるのかを参加者全員で話し合います。

例：大きい魚→小さい魚を食べる。

魚→サンゴを食べたり、隠れ家に使ったりしている。

人→サンゴ礁の海をシュノーケリングで楽しむ、魚をとって食べる。

森→サンゴ礁の海に栄養を供給している。

*参考資料：ファクトシート「サンゴⅡ サンゴ礁に迫る危機」

6. サンゴ礁の生態系をジグソーパズルに例えて説明し、次の活動につなげます。

例) サンゴ礁の生態系はこのジグソーパズルのようにさまざまな要素（パズルのピース）がつながりあって成り立っています。そして、ピースが一つ足りないとパズルが完成しなかったように、このうちの一つでも欠けてしまうと、生態系はバランスを崩して壊れていってしまいます。すべてのものがみんな大切なのです。

*たくさんのパズルのピースを組み合わせていった過程や、ピースが一つ足りないとパズルが完成しなかったことを参加者に思い出してもらいながらまとめの話をすると効果的です。